



マリア・レポートのマリア様

マリア・レポートは創刊号でも記載しましたが、聖母マリア様とマリア・マザレロにあやかっ「マリア」という名前になりました。聖母マリア様については言わずもなですが、今回はマリア・マザレロについて記事にしたいと思います。

マリア・ドメニカ・マザレロは、一八三七年、イタリアのモルネーゼ村に生まれました。信仰深く、勤勉であったため、村の少女達の模範となっていました。彼女が二十三歳のときにチフス患者の看病をしていました。そのため彼女もチフスに感染し、生死の境をさまよいました。そのとき、彼女は人生で何をなすべきかを考えました。彼女が出した答えは貧しい娘達に読み書きと技術を身に付けさせるための裁縫塾を開くことでした。そこで読み書きや裁縫だけではなく、祈りと神様の愛を教えました。

その働きがドン・ボスコの目にとまり、彼女は女子修道会を設立させるに至りました。一八七〇年にモルネーゼに「扶助者聖マリアの娘たち」と名付けられた女子修道会が生まれました。彼女はその初代総長に選ばれ、マール(母)として愛情深く少女達を見守っていたそうです。

この「扶助者聖マリアの娘たち」という女子修道会は現在のサレジアン・シスターズにつながっています。ですから、マリア・マザレロは私達の城星学園のルーツとなった組織を作った女性といえます。

この二人のマリアのもとこのマリア・レポートをがんばって作りますので、皆さんぜひ楽しみにしてください。



↑学園の御母、聖母マリア像

↓サレジオ会の母マリア・マザレロ



高一 ユーリンカーン
ミッパー
さくらんぼ

「聖母祭」と「徳の花」

五月はカトリック教会で「聖母月」と呼ばれています。復活祭も終わり、新しい葉が芽吹き生命を感じる季節です。その季節にマリア様を賛美する「聖母祭」を行います。

城星学園中学校・高等学校では玉造大聖堂で執り行われます。それまでの準備期間は「徳の花」と呼ばれています。

ドン・ボスコは聖母祭を祝うにあたって、「徳(良い行い)で心の中に花束を作り、当日、聖母マリアにその花束を捧げるように」と勧めました。それに倣って行われる行事です。

城星学園では聖母祭と創立記念ミサの前に「徳の花」を行います。今回は「聖母祭」に向けた「徳の花」です。聖母祭までの九日間は毎朝先生方からテーマに沿ったお話が放送朝礼であります。お話の最後には「今日の実行」が話されます。その日は「今日の実行」を心にとめて過ごします。今回のテーマは「隣人を自分のように愛しなさい」です。そのお話を書き留めた「徳の花カード」をミサでお花とともにマリア様にお捧げします。

新入生のみなさんは初めての「徳の花」期間がやってきますね。この行事はカトリックミッションスクールである城星学園に通っているからこそできる貴重な体験です。一日一日、私達のこれからの財産となるお話をたくさん聞くことができます。そのお話を聞くことでもうすぐ聖母祭がやってくるんだ、と実感することも出来るようになります。

私達高校三年生はあと二回の残り少ない「徳の花」を大切にしていきたいと思っています。卒業して大人になっても「徳の花」のことはきつと忘れないでしょう。

高一 アシステンツァ・エリノ
ジャック



例年の聖母祭の様子です。
玉造大聖堂に全校生徒が集まり、ミサに与ります。
お祈りをし、聖歌を歌い、
落ち着いた時間を過ごします。

編集長のひとりごと(編集後記)

新学期も始まって一ヶ月が経ちました。ゴールデンウィークになり、なんとなく世間も心もざわつく季節がやってきました。ゴールデンウィークの予定はいかがでしょうか？楽しいことを企画している方も多いのではないのでしょうか。

ゴールデンウィークとはもともと映画界で黄金週間といわれていました。盆や正月よりも4月末〜5月初旬の休日が固まった時期の観客動員数が多かったことからそう呼ばれました。ゴールデンウィークに映画を見るのもいいですね。

前回は「ひな祭り(上巳の祓え)」についてお話ししました。今回は「端午の節句」についてもお話したいと思います。

端午の節句は毒虫・悪鬼を退けるための行事として奈良時代から行われてきました。菖蒲やよもぎを軒に挿し、ちまきや柏餅を食べて邪気を祓います。どれもさわやかな緑で新緑の季節を感じるだけでなく、柏や笹の葉には殺菌作用もあり、食べ物を含むという点では理にかなったものもあります。なかでも、柏の葉は新しい葉が出てこないこと散らないことから、子が絶えぬように、つまり、家系が絶えることのないようにという祈りもあります。また、神社で「かしわで」を打つことから、「柏」というのはどこか神聖なものとして日本人の中にあるのかもしれないですね。

菖蒲は「尚武(武を重んずること)」という言葉にもつながり、江戸時代以降男の子の節句とされてきました。邪気を祓い、健やかな発展を願うこの行事は一三〇〇年近くも日本人のなかに引き継がれてきた大切なものです。周りの自然に感謝しながら命をつないできた伝統を感じるのもいいかもしれませんね。

今年度入職された先生のキャッチコピー紹介

今年度入職された三人の先生に自己紹介として自分のキャッチコピーをつけてもらいました。ちなみに編集長のキャッチコピーは「生まれる時代を千年間違えた女」です。ではご一読ください。

小寺先生… いつの日か 「たおやかな女」と 呼ばれたい

竹村先生… 旅行の計画は私まで！！好ければ勉強の計画も！！

トラベルエージェンシー竹村

早川先生… ゆるふわに生きています

城星学園報道局、局員募集中！

城星学園報道局は季節に合わせて様々な行事を校内外にお伝えするという活動を行っております。局員は生徒で構成されており、様々な媒体での報道をしております。

例えば、地方紙「うえまち」に記事を投稿したり、講堂朝礼で動画公開をしたり、本紙、マリア・レポートの発行を通して報道をしております。

局員は中学校・高等学校の有志の生徒で構成されております。実際の行事やイベントではカメラ片手に記事を書いたり、取材をしたりと記者として活動してまいります。報道に関する職業や情報関係の進路をお考えの方、または一度体験してみたい方など、少しでもご興味のある方は一度報道局の局員として活動してみませんか。入局の際は左記チケットをお持ちいただくか、副校長松本か中学・高校職員室の北岡までお声かけください。お待ちしております。

今年度の主な活動内容は左記のとおりです。

- ・ 「うえまち」への記事投稿
- ・ 各行事に関する記事の作成
- ・ 学園でのボランティア活動の取材
- ・ マリア・レポートの作成

活動日

- ・ 毎週木曜日の昼休み(長期休暇・定期考査期間は不定期)

報道局入局届引替証

この引替証を持って中高職員室まできてください。

報道局入局届をお渡しします。

その際は、記事を書くときのペンネームを考えてきてください。